

地域経済

観光・農業の新たな取り組みを追う

熊本に新しい祭りを



▲最優秀賞を受賞した新潟総踊り



▲本場の阿波踊りを披露する、みのだ連（徳島県）

はいや熊本 2010

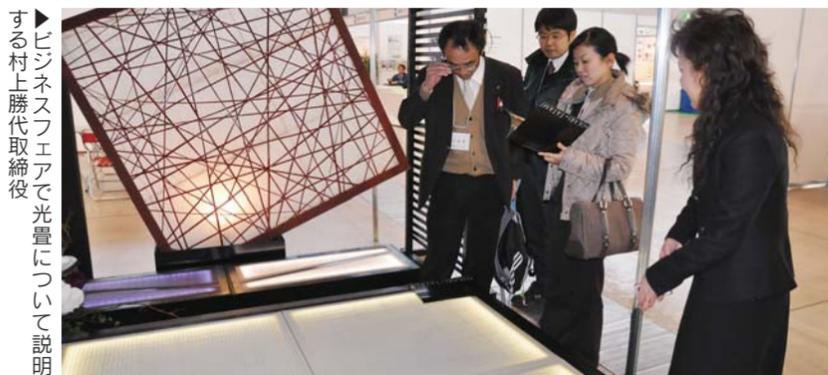


▶下通ダイエー前で演奏を披露するマーチングバンドのファイアーステート（熊本県）

NPO法人ふるさと夢と文化を育てる会（熊本市西原2丁目）は5月14日、民謡の祭典「はいやくまもと2010」を開催した。

このイベントは日本各地からはいやくの影響を受けた民謡団体を招いて実演するもの。07年11月から開催し、今回で3回目。熊本、鹿児島、東京などから9団体合計230人が参加した。下通から新市街にかけて行われた道中踊りコンテストでは、阿波踊りのみのだ連（徳島県）、新潟総踊り（新潟県）がそれぞれ審査員特別賞、最優秀賞を受賞した。

「博多のどんたくのように市外、県外からも人が見にくるような祭りにしていきたい。来年は九州新幹線全線開業直後の4月に開催を予定している」と帆足秀樹理事長は話している。



▶ビジネスフェアで光畳について説明する村上健取締役



▶国産イグサ利用製品の第2弾として、畳の裏にフローリングを張ったり、パーシブルフロアも開発。特許を取得して発売に備えている



▶イグサを染色した紫の光畳（消灯時）

畳表卸売業の村上産業（八代市千丁町）が製造販売しているLED内蔵の光る畳「光畳」は、畳自体が淡く発光するユニークさで話題を集めている。

国内生産の8割以上を占める八代市のイグサの消費拡大を目的に同社が開発。国産イグサと特殊素材を混ぜて織り込んだ畳表は、緑色で普通の畳と見分けがつかないが、スイッチを入れると畳自体が発光する。主に飲食店や個人住宅で使用されている。

開発者の村上健取締役は「国内特許を取得し、色の種類も5色を用意。足元から照らす珍しい照明で、癒しの空間を演出できる」と話す。特殊素材を混ぜた畳表は通常の畳よりも耐久性と防水性が高く、LEDを内蔵しているが試験では750キロの重さにも耐え、安全性も十分だという。欧州向けの輸出例もあり、模倣品対策のため国際特許の取得を進めている。

輸入品に押されてきた国産イグサだが、高い品質と独創的なアイデアで反転攻勢を始めたようだ。



光る畳は足元からの明かり革命

村上産業の「光畳」

▲床からの柔らかな光で茶室を照らす光畳と開発を担当した村上健取締役

くまもとを元気にする **FACE**

中屋 信一さん(43)
美容整体STUDIO TamateBaco
オーナー
(熊本市薬園町)

熊本市薬園町に美容整体院をオープンしました。整体はもちろん、整顔やエイジングケアも手掛けており、美容とリラクゼーションの両方をお届けできる空間です。男性のお客さまも大歓迎ですよ。お気軽にご利用ください。

くまもとを元気にする **FACE**

堂園 ハルミさん(46)
天使のパン
オーナー
(熊本市江越1丁目)

2店舗目となる平成さくら通り店をオープン。卵、牛乳を使わない天然酵母のパン店です。子どものアレルギー体質に悩んでいるお母さんからストレスを取り、子どもたちにおいしいと喜んでもらえるおやつを作りたいですね。

くまもとを元気にする **FACE**

中村 憲史さん(43)
なかむらファミリークリニック
院長
(熊本市武蔵ヶ丘7丁目)

内科、皮膚科、美容皮膚科を診療科目としてアットホームなクリニックを目指しています。開業時から内視鏡に力を入れており、高血圧や糖尿病に対してフォローした上で内視鏡を行うなど、トータルでサポートできる点が強みです。

くまもとを元気にする **FACE**

岡本 香さん(43)
オレンジ・ペコ
店長
(熊本市田迎2丁目)

お客さまが自分の部屋にいる時のようにリラックスしてもらえ美容院でありたいと思っています。トータルビューティーを目指し、美の手助けができればと、最近プチエステを始めました。感謝の心をいつも大切にしています。